

毎議会ごとに報告を発行してきました。バックナンバーはホームページでご覧いただけます

こんにちは！

議会報告 No.15 / 平成 19 年 3 月定例議会 / H19.4.8

印西市議会議員 (会派 市民自治ネットワーク / 無所属)

ますだようこです



〒 270-1347
印西市内野 2-1-6-202
Tel&Fax 46-6809
URL : http://masuda-yoko.jp/



桜満開の新学期です。まもなくピカピカの 1 年生のかわいいランドセル姿をよく見かけることになるでしょう。

さて、任期最後となる 3 月定例議会は、3 月 20 日に「19 年度予算」を含む 30 議案をすべて可決して閉会しました。主な内容は以下のとおりです。

3 月議会の主な議案

- ①専決処分の承認 2 件
千葉市内と我孫子市内での公用車の追突事故の損害賠償額 (2 件で 1,198,823 円) の承認
- ②条例・規則の一部改正 12 件(内 3 件は議員発議)
「中小企業資金融資条例」「重度身障者の医療費助成条例」「市議会委員会条例」など
- ④補正予算 6 件
一般会計、国民健康保険会計、老人保健会計、下水道会計、介護保険会計、水道事業会計
- ⑤予算 6 件
一般会計ほか 4 特別会計、水道事業会計
- ⑥契約の締結 1 件
防災行政無線の更新工事の請負契約。予定価格 4 億 1,000 万円の制限付一般競争入札で (参加 4 社)、2 億 4,145 万 8,000 円 (落札率 56 %) でスイス通信システム(株)が落札。
- ⑦一部事務組合の規約変更の協議 1 件

共済事務などを共同処理している「市町村総合事務組合」の規約が、市町村合併や自治法改正により変更されたもの。

- ⑧財産の取得 2 件
印西牧の原駅北口の駅前広場用地を 3 億 2,842 万 3,040 円で、南口を 4 億 3,292 万 7,000 円で「ニュータウン事業者」から取得。
(各議案の内容については、ホームページにものせましたので、ご参照ください。)

4 回目の予算審査

3 月議会は予算議会です。4 年前、最初の予算審査に臨んだとき、事業名の並んだ説明資料をみても、具体的に何をしているのか、計上されている金額が妥当なのかも分からず、「良いも悪いも判断できない」という感じでした。議員は、1 期目でも 5 期目でもいただいている報酬は同じ。「分からない自分が採決していいのだろうか？」とプレッシャーを感じたことを思い出します。

4 回目となる今回の予算審査では、「将来に向けて、今どんなところに予算をつけていくべきなのか」を常に考えながら、審査に臨みました。

4 年間でふえた 10 億円

19 年度予算は、一般会計 214 億 2,000 万円、

特別会計と合わせると 324 億 8,261 万円 (対前年比で 5.5 % 増) となりました。

4 年前の平成 16 年度の予算書を見ますと、市税収入は「110 億 4,080 万円」計上されていました。その前年にジョイフル本田がオープンし、ちょうどニュータウンが商業地としてにわかには活気づいてきた時期でした。そして、19 年度は「120 億 1,062 万円」の市税収入が計上されました。三位一体改革の税源委譲もありますが、この 4 年で税収は 10 億円も増えました。市民の皆さんの関心は、その増えた分がどんなところに使われるのか、という点だろうと思います。

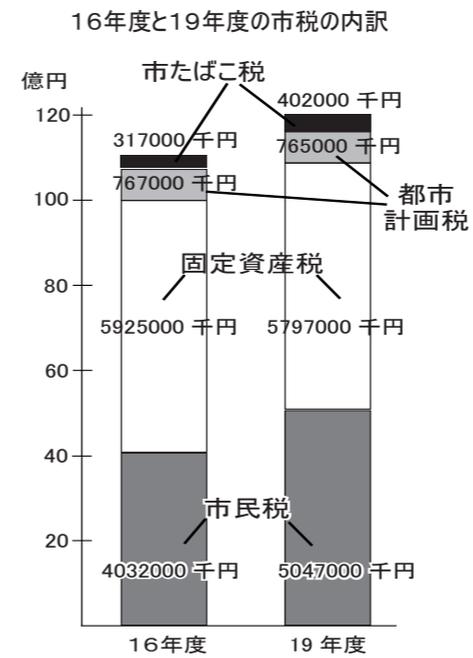
市税が増えたことによって、地方交付税のように減ってしまう財源もあるし、支出のほうでは、「人件費」が増え、児童手当の拡充で「扶助費」も増え、医療給付費の増など、いわゆる「義務的な経費」も増えていますから、10 億円がそのまま新たな事業に使えるわけではありませんが、市税という「自由に使えるお金」がどんなところに使われていくのか、市民の皆さんにはぜひ関心をもって見守ってほしいと思います。

予算にみる印西市の独自性は？

ちなみに 19 年度の新規かつ主要な事業として掲げられたものをあげてみます。

- ファミリーサポートセンター / 297 万円
- 農地・水・農村環境保全向上対策 / 82 万円
- 学校図書館への司書配置 / 291 万円

この他に、これまでの継続事業の中で、例えば、「前立腺がん」検診が追加されたり (404 万円)、育児不安解消のため新生児宅の全戸訪問をしたり (35 万円)、申請や届出を電子化したり (283 万円)、



障がい者の家賃を補助 (360 万円) したり、ということになっています。

上記の事業は、すでに近隣自治体で成果が出ていたり、国や県の補助金があって始めるものも多く、今回の予算審査を通じて、「印西市の独自性」が感じられた事業は、あまりありませんでした。

もっと「先行投資」も

予算編成の中で「市民の要望に応じていく」ことはとても大切です。でも、ただそれ

だけではなく、将来のための「先行投資」を忘れてはいけません。

いま、印西市が先行投資すべきところは、一つ目に、「効率的な行政」にしていくための基礎づくりの経費と、私は思います。

例えば、利便性向上のための「電子申請」も大切ですが、これから急激に訪れる高齢化にそなえて「高齢者台帳の電子化とネットワーク化」も大切です (「見た目より内容」かななどと思います)。二つ目に、「人を育てる」ための経費です。今や非常勤職員がいなくては市民サービスが滞る状態なのに、非常勤職員の研修予算はほとんど計上されていませんでした。また、地域づくりの核になっていただく人材の育成を担うのは、本来は公民館などの社会教育施設の役割ですが、そうした事業の予算もけっして多いとは言えません。

北海道ニセコ町には、市民もまちづくりの先進地の視察に行ける助成制度がありました。たとえわずかでも、そうしたことが将来生きてくると思います。



一般質問しました

公共施設の保全管理の現状は？

建設した公共施設は、できるだけ長く、安全に、快適に市民が使っていけるように、保全マニュアルに基づいた日常点検や、計画的な修繕工事をしっかり行っていかなくてはなりません。

建設後 30 年を経過した建物は、老朽化によって維持管理費が急激に増加するといわれ、保全管理が適切に行われていないと、思わぬ事故を引き起こす可能性もあります。

私の質問	市（市長）の回答
施設ごとに「中・長期的な修繕計画」が策定されているのか。また、その修繕計画は一元管理されているのか？	現在、公共施設の修繕は担当部署ごとの管理になっていて「必要に応じて」修繕を行っており、一元的に全施設を対象とした中長期計画は策定されていない。
修繕計画がなくて、何を基準に大規模改修の時期や内容を決定しているのか。「必要に応じて」という状況はどのような状況なのか？	担当部署の目視や定期点検の報告によって、施設の機能に支障が生じる恐れのあると分かった場合、事後保全的な修繕を行ってきた。その規模や内容に応じて大規模改修とするのかどうか決定してきた。
例えば、学校は教職員が日常的な目視や点検をしているはずだが、統一化されたマニュアルはあるのか？	法定的な保守点検は決められた項目があるが、目視点検の箇所や項目は統一のマニュアルはない。

* 印西市は公共施設が多いぞ！

東京都杉並区は人口 53 万人で 550 施設・床面積 78 万㎡の施設があります。印西市は人口 6 万人で 113 施設・20 万㎡。この他に、印西クリーンセンター、斎場、消防本部など一部事務組合の施設もあり、人口規模にしては施設が多いほう。当然、市民一人あたり

の施設維持費も高くついているはず。

まずは、劣化診断などの基準を早急に定め、各施設ごとに修繕計画を立てていく必要があります。そのため、建築の専門知識をもつ職員を集めた専門部署をつくるのがぜひ必要です。

私の質問	市（市長）の回答
近々に建設後 30 年を経過する施設はあるか？ その中で大規模な改修工事を一度もやっていない施設はいくつあり、どんなものがあるか？	昭和 52 年以前の建物で、全 291 施設中 41 施設。その中で、大規模改修をしていないのは市役所庁舎と付属棟、消防機具庫 21、青年館 14、船尾中学校、木下保育園の 39 施設。
基準づくりや計画策定はいつまでにどのように進めていくのか？ また、策定した計画を一元管理していく必要はないか？	先進事例を調査したい。職員配置も専門性に配慮する必要があると考えている。また、工事の一括発注で合理化を図るために一元管理も必要になってくる。

* ライフサイクルコストでの情報公開を

杉並区では『建物白書』をつくり、施設の管理コストの情報公開を進めています。その中で、区民センター、中学校、保育園の三つの建物で「ライフサイクルコスト」が試算されています。施設の耐用年数を 50 年として、設計・建築から、50 年間の修繕費や清掃費、解体費までの総コストを集計したものです。それによると、50 年で建築費の 2 倍から 2.5 倍のコストがか

かることになっており、ちょうどもう一つ同じ建物が建てられるぐらいはかかることとなります。

例えば、コミュニティセンター 4 館の建設総額は約 18 億円なので、杉並流だと 36 億～ 45 億円が必要ということになります。

今後も施設の建設が続くなか、建築時の金額だけでなく、トータルコストでの情報公開が必要です。

私の質問	市（市長）の回答
まちづくり交付金での施設整備や総合体育館も予定されているが、杉並区のように「白書」をつくり、トータルコストでの情報公開をしていく考えはあるか？	これだけの施設を維持管理していく上で十分に市民への説明責任は果たしたい。そのような形になるかどうか分からないが研究はしたい。

「放課後子どもプラン」への取り組み

国では、総合的な放課後児童対策として、文部科学省の「地域子ども教室」と厚生労働省の「放課後児童クラブ」を一体化して「放課後子どもプラン」を 19

年度から創設する方針を打ち出しました。印西市ではどのように対応していくつもりでしょうか。

私の質問	教育長の回答
放課後プランを所管し、事業推進する部署はどこ？	福祉部局と連携をとり教育委員会が推進していく。
これまで教育委員会・学校は、放課後に子どもを塾に行かせようが、ゲームをしていようが、それは家庭教育の範疇だという方針だったのではないか。放課後プランを教育委員会で推進するには意識転換が必要と思うが、教育長は率直にどう考えているのか？	子どもたちは登校してからある程度規制された時間を過ごしているのだから、放課後とは待ち遠しいものだと思う。そこに教育委員会が入っていくことは、いかなるものかと思う。
教育長が意義を見出せないのであれば、何も教育委員会でプランを推進していく必要はない。福祉部局が軸になってもよいのではないか。そういう基本的な検討はいつまでにするのか？	来年度からの事業で不確定な部分も多いので、今後、庁内に検討部会も立ち上げ、実態の調査研究に入りたい。

4 年間の私の一般質問

- 2003 年 6 月議会 [少子化対策の基本は子どもの安全な成長](#)
- 2003 年 9 月議会 [学童保育運営の改善](#)
- 2003 年 12 月議会 [これからの補助金交付のあり方](#)
- 2004 年 3 月議会 [広聴広報の現状 & 子どもの防犯対策 \(CAP の導入は?\)](#)
- 2004 年 6 月議会 [契約事務 \(入札・随意契約\) の透明性](#)
- 2004 年 9 月議会 [防災体制は大丈夫? & 市長公約の子育て支援①](#)
- 2004 年 12 月議会 [人事評価制度の構築を! & 市長公約の子育て支援②](#)
- 2005 年 3 月議会 [印西市の「計画行政」度は?](#)
- 2005 年 6 月議会 [これからの公園整備・緑地保全のあり方](#)
- 2005 年 9 月議会 [教育委員会の活性化を!](#)
- 2005 年 12 月議会 [「分権型」条例の現状 & コミュニティづくりの具体的方策①](#)
- 2006 年 3 月議会 [コミュニティづくりの具体的方策② & 電子入札の導入に向けて](#)
- 2006 年 6 月議会 [職員定数の「適正化」とは? & 非常勤職員の身分保障](#)
- 2006 年 9 月議会 [ごみ減量への取り組み & これからの印西地区の合併](#)
- 2006 年 12 月議会 [地域ケアの体制づくり & ディスポーザーと下水道](#)

* 内容はホームページをご覧ください。